

2022年2月25日
商工中金

長野県信用組合との共同主幹事第1号案件！ 地域金融機関等と協調し、「おやき」の製造工場を主とした新施設を建設する 有限会社いろは堂様に対して総額10億4,500万円のシンジケートローンを組成

商工中金は、シンジケートローンなどの取り組みを通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献しています。

商工中金（長野支店）は、有限会社いろは堂様（本社：長野県長野市鬼無里、代表者：伊藤 宗正様）に対し、総額10億4,500万円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金と長野県信用組合が共同アレンジャーを務めた第1号案件（※1）で、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

（※1）2022年2月に商工中金と長野県信用組合は、「シンジケートローン業務における連携・協力に関する覚書」を締結しています。

同社は、大正14年創業の長野県の郷土食である「おやき」の製造販売業者です。小麦粉にそば粉を配合し、フランスパンにも使われているオートリーズという方法で仕込んだ独自の生地にも具材を包み窯で焼き上げることで、他社商品と差別化を図っております。

今回、同社は、本シンジケートローンにより調達した資金を活用し、新たな工場の建設を計画しました。新工場では、自動化製造ラインの導入により、生産を合理化するとともに生産量を増強。高まるEC需要や大口注文にも対応可能な体制を構築します。また、おやき作り体験スペースや工場見学スペースを設置し、地域の食文化発信にも取り組んでいきます。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価をメインバンク長野県信用組合とともにValue up レポート（※2）にまとめ、同社の強みや財務上の課題を共有。同社の企業価値向上には、生産能力の増強が不可欠と考え、長野県信用組合と協調して本融資契約を締結しました。

（※2）お客さまとの信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、企業価値を高めるために作成する事業性評価のツール。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関と連携しサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	10億4,500万円(タームローン)
共同アレンジャー	長野県信用組合 5億4,500万円
共同アレンジャー兼 エージェント	商工中金 5億円
契約締結日	2022年2月16日



【有限会社いろは堂様の概要】

所在地	長野県長野市鬼無里 1687-1	資本金	3,500万円
代表者	伊藤 宗正様	従業員数	50名(2022年2月現在)
業種	食品製造・販売業	設立	1967年9月

【新工場完成イメージ】